講義紹介

中国文学概論I・II

中国は古くから文字が発達し、さまざまなジャンル／スタイルの文学が生まれました。古代から近世までの詩歌や散文、小説、文芸批評などを系統的に解説し、代表的な作品や作家を紹介します。東アジア、特に日本に大きな影響を及ぼした中国古典文学の教養が身に付く講義内容です。

中国文学・思想講読演習

中国文学や思想を理解する上で重要な作品を精緻に読解するという原典理解を通し、作家や思想家あるいは作品世界について、またその背景となった歴史・社会について考察を深めてゆきます。古代の詩文いわゆる漢文作品のほか、『三国志演義』『水滸伝』などの近世白話小説や魯迅などの近代文学作品もとりあげます。

漢語・漢文法(中国文学)

「東洋学のための言語入門」の内容からより専門的な古漢語と語法の理解を深めます。漢字の知識を豊かにし、漢文読解力を向上させる授業です。日本古来の漢文読解「訓読」の習得を目指し、現代中国語の語彙・語法とも関連させた、「漢語(中国語)」の相互的な理解も重視します。

中国文学・思想特殊講義

中国の文学と思想は古代から多種多様な発達を見せています。個別のテーマを設定し、そこに存在する学問的問題を丁寧に解説し、中国の文学・思想、文化や民族性の特質、東アジアにおける影響などを明らかにしようとする講義内容です。講義のテーマとしては、例えば「文字学(漢字学)」などが行われます。

漢語・漢文法(東洋史学)

漢文を読み理解する力を養成するための演習授業です。前近代の東洋の歴史を研究する為には、漢文史料を読むことが不可欠です。訓読・現代語訳などの漢文読解の基礎的訓練を行います。

東洋史講読演習

史料は、文章の文字通りの意味だけではなく、その背後にある当時の社会も含めて理解しなければ、正確に理解することはできません。本講義は、「漢語・漢文法（東洋史）」で修得した基本的読解力を基礎に、漢文史料を歴史資料として利用する技術を養成するための演習授業です。

東洋史特殊講義

東洋史概説が東アジア世界の歴史展開を概観する講義であるのに対して、本講義は、個別具体的なテーマをより深く掘り下げてゆくものです。講義担当者が自分の研究分野を講義するものですので、概論では聞けない東洋史の奥深い世界を知ることができるでしょう。

東洋学のための情報処理

東洋学で扱う漢文文献は、現在そのほとんどが既に電子化されています。それ故、それらを利用する為のコンピュータスキルは、東洋学にとってもはや不可欠な技術となっています。本講義は、東洋学に必要な情報機器スキルの習得を目指すものです。

現代東アジア言語・文化概論I～III

現代の東アジアにおける文化・社会・歴史に関する基礎的な知識を着実に修得することを目的としています。対象地域は、主として中国（台湾・香港などを含む）・朝鮮半島ですが、日本との関係という視点を忘れるわけにはいきません。現代東アジアの課題を立体的に学びます。

東アジア現代文化論 I

現代中国(台湾・香港などを含む)の文化現象を具体的かつ専門的に学びます。文化の概念は広いですが、文学テキストから映画・ドラマ・アニメといったサブカルチャーまでを対象に、現代的課題に即して講義します。

東アジア現代文化論 II

現代の朝鮮半島における文化現象を具体的かつ専門的に学びます。主として韓国の文学テキストや映画・ドラマなどを中心に講義を進めますが、北朝鮮が直面している文化的課題についても紹介し議論していきます。

専門外国語(中国語・朝鮮語)

文学部共通科目ですが、現代東アジア言語・文化専攻向けのクラスを設置し、中国語または朝鮮語の高度な運用能力の育成を図る。豊かなコミュニケーション能力を養成し、また文献を批判的に解釈・分析できる読解力を身につけます。

山中萌子さんの留学体験記

上海交通大学 (2007 年 9 月～ 2008 年 8 月)

http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/lt/cl/highschool/taiken_6.htm

ひとこと

高校生３年生の夏、たまたまChaiというCDを聞きました。サントリーのウーロン茶CM曲を集めたCDなのですが、これが私の中国語とのはじめての出会いでした。それ以来中国語が大好きになってしまった私は、立命館大学で中国文学と中国語を学び、１年間の交換留学にも行ってしまいました！ここではその留学体験を紹介させていただきます。

留学したきっかけは？

子供の頃から「留学したい、外国で暮らしてみたい」という思いがあったから
私は高校生の頃に中国語に出会い、その音の世界に惹かれて中国文学に興味を持つようになりました。大学生になって立命館で漢詩や中国語を学ぶうち、「もっと中国語を自由に話せるようになりたい。中国で生きた中国語を学んで、現地の人と交流して、中国の文化に触れられたらどんなに楽しいだろう!」と考えて、思い切って中国留学をすることに決めました。

一番楽しかったことは？

外灘にクリスマスディナーに出かけたこと
留学中、何か強烈に思い出に残ることをしたいと考えていたので、思い切ってクラスメイトと誘い合わせて、外灘でクリスマスディナーに出かけました。外灘という世界的に注目されるスポットで、洗練されたお料理やもてなしを経験できたことは、大きな学びになりました。

卒業式で留学生代表のスピーチをしたこと
卒業式で代表スピーチをさせていただいたのも良い思い出です。初めての経験でとても緊張しましたが、一生懸命考えたスピーチを終えたとき、胸にこみ上げるものがありました。1年間の留学生活を締めくくる、最高のイベントになりました。

あなたが留学前と変わったのはどんな点ですか？

語学力が身についたこと
中国語はもちろん、一緒に英語も身につきました。

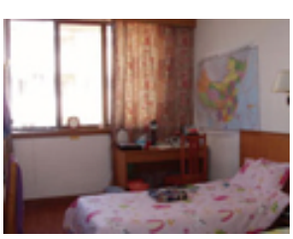
色々な人付き合いのスタイルを身につけたこと
留学中は、中国人はもちろん、世界中からやってきた留学生仲間と日々を過ごしました。その中で、たとえば何気ない会話の中でも自分の意見を明確に述べられるようになったり、何か嫌なことがあればはっきりNOと言うことができるようになりました。日本の察しあうコミュニケーションを抜け出して、素のままの自分を表現できるようになったのだと思います。

精神的にたくましくなったところ
上海という街は大きなエネルギーを感じられる場所です。これからどんどん発展していこうと意気込む中国の人々のエネルギーや、世界中から集まる人々・ビジネス・文化のエネルギーです。上海留学を志す皆さんは、1年間この大きなエネルギーや、沢山の人々・文化に大いに揉まれて下さい。そうすれば、きっとその先に一回りも二回りも精神的に大きく成長した自分がいるはずです。

留学を考えている人へ

「どこかで、驚くべき何かが、あなたに見つけられるのを待っている」
これはカール・セイガンというアメリカの天文学者の言葉で、私の留学生活におけるキーワードでした。
自分が動きさえすれば、必ず驚くべき何かが見つかります。留学するかどうか迷っている人、自分に本当に留学する意味なんてあるのかな、と悩んでいる人も、本当に惹かれるものがあるのならぜひその世界に飛び込んでみてください。留学は自分という人間を豊かにできる大きなチャンスだと思います。

上海交通大学


留学生寮(桃李苑)の自室

クラスメイト

大学主催クリスマスパーティー

卒業生の声

福本亘さんの言葉

伊藤忠商事株式会社勤務 (2009 年 3 月 立命館大学文学部人文学科中国文学専攻卒業)

http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/lt/cl/highschool/jobs.htm

私が中国文学専攻を選んだ理由!

「東京?大阪?京都?福岡?」「法学部?経済学部?文学部?教育学部?」「私立?国公立?」進学の悩みは本当に様々!
ただでさえ受験勉強で忙しいのに、大学の進路を決めるのなんて、もっと大変!大事な進路選択なのに、どうすればいいか分からない!
そんな高校生活を経験した私が、立命館大学の中国文学専攻を選んだ理由を、入学後の中国文学専攻の実情を交えながら、ここで紹介します。私が立命館大学文学部中国文学専攻を選んだポイントは、“どこで”“誰と”“何をして過ごすか”の３つでした。

その１：情緒溢れる街・京都!（どこで）

４年間という限られた時間を、どこで過ごすかは、とても重要な要素。
京都には、清水寺をはじめ、二条城、上賀茂神社等、多くの世界文化遺産があります。立命館大学の周りにも、金閣寺や龍安寺等の歴史的建造物があります。授業の合間を縫って、それらの名勝を訪れることが出来るのも、京都ならではのことでしょう。週末は寺社巡りをし、中国文化の影響を受けた日本文化に触れ合い、日本の歴史における中国の重要性を肌で感じました。

その２：色んな地方から学生が集う大学!!（誰と）

立命館大学の大きな強みは、ズバリ“人”です。高校生の時、立命館の主催するオープンキャンパスに足を運びました。そこには、関西だけではなく、北は北海道から南は沖縄まで全国津々浦々の学生が参加し、私の地元・福岡では出会うことの出来ない人々と交流することが出来ました。このことは、入学後も変わりません。同じ志を持った全国の学生と接し、色んな話をすることで、自分の持つ視野を広めることが出来ました。

その３：中国文学だけでなく、幅広い分野の学問に挑戦出来る!!!（何をする）

白川静先生を輩出した中国文学専攻ですが、専門分野以外の研究にも挑戦出来るのが中国文学の魅力。勿論、専門分野の研究に力を注ぐ学生も少なくありません。
私の場合、中国語に興味を持っていたので、「副専攻」を受講し、中国語の資格取得に励みましたし、大学が開講する『異文化理解セミナー』に参加し、中国に短期留学する学生もいました。現在は、孔子学院との提携により、よりレベルの高いでの中国語の授業が受講可能となっているのも、中国文学専攻の魅力の一つです。
また、文学部にはバリュエーション豊富なプラグラムが組まれています。映画や美術等の芸術系の授業をはじめ、地理学から京都学まで様々な講義が用意されています。つまり、文学部は、自分の興味のあるものなら何でも勉強出来る学部なのです!
以上が、私が中国文学を選び、実際に経験した内容です。多くの人と出会い、切磋琢磨し合うことで、私の大学生活はとても充実したものとなりました。進路でお悩みの学生の皆さん、中国関係の学問に興味のある皆さん、是非中国文学専攻の門を叩いてみては如何でしょうか?

卒業（2009 年度・中国文学専攻）

卒業証書授与

友人との一枚

謝恩会にて先生と

教員紹介

上野 隆三

研究テーマ：中国文学
専門分野　：明清時代の白話小説
キーワード：三国志演義、水滸伝、三侠五義、中国映画

宇野木 洋

研究テーマ：同時代中国の文学・文化現象に関わるマクロ的研究
専門分野　：現代中国文学、文化批評・理論
キーワード：同時代中国文学、文化の商品化現象、「美女作家」ブーム、モダニティ、文化大革命

北村 稔

研究テーマ：中国の近現代史、日中戦争の実態
専門分野　：文化大革命と知識人、鄧小平と改革開放の政策の行方
キーワード：中国共産党、マルクス主義、農民、南京事件、天安門事件、民主化運動

佐々 充昭

研究テーマ：朝鮮近現代史における「宗教」概念の受容とナショナリズム創成に関する研究
専門分野　：宗教学、朝鮮近代史
キーワード：朝鮮の民俗・風習・民間信仰、植民地期朝鮮における新宗教、現代韓国の宗教と文化、「韓流」コンテンツの解析、東アジアのグローバル化とナショナリズム

鷹取 祐司

研究テーマ：出土文字資料を用いた秦漢時代の法律・制度の研究
専門分野　：中国古代史、簡牘学
キーワード：秦漢時代、木簡、長城警備、律令、文書行政

中川 正之

研究テーマ：現代中国語と現代日本語の比較・対照
専門分野　：中国語学、言語類型論
キーワード：世界と世間、ステレオタイプ、プロトタイプ、漢字、同形語

萩原 正樹

研究テーマ：詞学研究
専門分野　：中国文学、日本漢文学
キーワード：唐宋詞、詞牌、詞譜、日本詞学、森川竹磎

松本 保宣

研究テーマ：中国唐王朝の政治を宮殿の構造・機能を中心に解明
専門分野　：唐代政治制度史、都城史
キーワード：唐代の宮廷政治、皇帝と官僚、宮殿の構造、宦官、軍隊

芳村 弘道

研究テーマ：唐代の詩文研究・董康『書舶傭譚』研究
専門分野　：唐代文学、漢籍研究
キーワード：唐詩、白居易、文献学、日中学術交流

庵逧 由香

研究テーマ：植民地支配と戦争動員
専門分野　：朝鮮近現代史、国際関係史
キーワード：朝鮮、植民地、総動員体制、歴史清算問題

井上 充幸

研究テーマ：中国近世文化史・社会史
専門分野　：中国近世の文化史、社会史、環境史
キーワード：文人趣味、書画骨董、シルクロード、水資源

廣澤 裕介

研究テーマ：中国の明代の文学と出版文化
専門分野　：明代白話小説の成立と出版業者
キーワード：ホンを出版した人と読んだ人、ホンを書く人とホンのことを書く人、作品の創作と改作と二次創作、社会におけるホンの役割、ホンの中の絵画

落合 淳思

研究テーマ：甲骨文字と殷代史
専門分野　：甲骨文・金文、殷代史、古代中国
キーワード：甲骨・金文、殷・西周、古代中国 、漢字